肢体不自由、病弱を有する 児童・生徒への取り組み 〜授業での活用〜

令和6年(2024年)7月9日(火)

15:50~16:25

北海道手稲養護学校三角山分校

教諭

佐 橋 亜起英

内容

I ICTを活用するにあたって 忘れてはいけないこと

2 活用事例の紹介

3 まとめ

I ICTを活用にあたって 忘れてはいけないこと

目的達成のためのツールとして

視点として・・・

・新しいスキルを身に付けるのか

・今あるスキルを伸ばすのか

大事にしなければいけないこと

- •目の前のニーズ
- •理論
- ・ねらい
- •実践
- ・成果と変容

考え方の例①

タブレットで絵を描く



・手指で?-ペンで?-マウスで?



・(入力)支援機器として

Ex)トラックボールマウス、スタイラスペン (視線入力装置)

考え方の例②

・目的→ 書き順? 覚えること?、文書を作ること?デザインをすること?



選択肢として

ex)筆記具を使った入力、マウスやキーボードを使った入力、視線入力、音声入力

(端末の)操作ができることで 可能性は広がる。

・ATの活用、マウスなどの入力装置の工夫。

児童・生徒にとってやりやすいというのはどういうことか?

Microsoftアダプティブアクセサリー





光るスイッチ・療育デバイス 『COSMO』





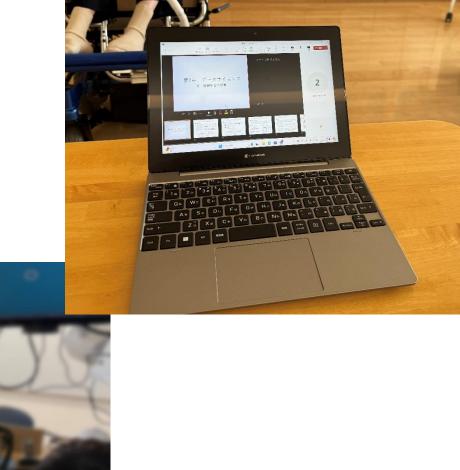
2 活用事例の紹介

授業の一コマ



配線がなくなることで

- ・授業準備の簡略化
- ・目の前のTVを見ないで机上の端末を見ることが できるので首にかかる負担を軽減。
- ・個人端末で学習が完結するという経験を積ませることで家庭学習の促進にもつながる。





ex)遠隔授業をする

·Zoom →40分無料

・Google meet →Gアカが必要。 時間制限はなし

Microsoft Teams → アカウントなしで 時間制限なし

遠隔校外学習·見学

- ・現地に行くことが難しい理由は様々
- ・時間的要因 限られた時間の中で移動、実施
- ・物理的要因 車いすで行くことができるか
- ・身体的要因 感染症などのリスク

 \downarrow

※病院からの許可が下りることが大前提

遠隔校外学習の様子

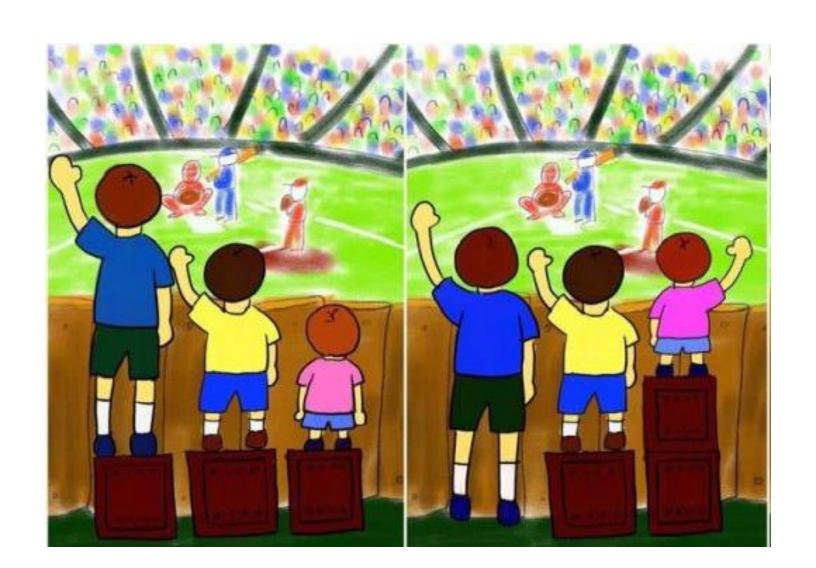








ICTの位置づけ~合理的配慮~



3 まとめ

避難訓練の振り返り ~Kahoot!~



視点として・・・

・新しいスキルを身に付けるのか

・今あるスキルを伸ばすのか

Canva

- ・自己紹介の一覧表づくり(共同作業)
- チラシ作り・ポスター作り
- ・イラスト制作
- ・画像生成AIを使った制作







大事にしなければいけないこと

- •目の前のニーズ
- •理論
- ・ねらい
- •実践
- •成果と変容

ICTは目的達成の ための(児童・生 徒を支援する) ツールです

使い方は人それぞれです!

ご清聴ありがとうございました。